

119番通報！焦らず正確に！！

事前準備について

- ・傷病者情報カード(別紙)を記入し、緊急事態に備え、事前準備。
- ・「延命を望まない意思」など事前意思の確認。

119番通報する前に

かかりつけ医や協力病院に連絡し、指示を受けてください。
蘇生処置を希望しない(DNAR)の意思表示をされている利用者が心肺停止状態となった場合は、まずかかりつけ医に連絡をとり、医師の指示にしたがってください。 **その際、医師に119番通報の有無を確認してください。**

119番通報が必要な場合(医師の指示がある・連絡とれない等)

- 通報の際は、電話のスピーカー機能(ハンズフリー)を使用してください。(消防署から直接指示を受けながら応急処置を行うため)
- 搬送先が確定している場合は、消防署に知らせてください。

伝えること

- 所在地(施設名)・電話番号
- いつ、だれが、どこで、どうした
- 傷病者の今の状況



119番通報した場合

- 必要に応じて応急手当を実施する(裏面参照)
- ご家族等への連絡
- 【傷病者情報カード】の準備、傷病者の情報収集(発生から現在までの状況、既往歴や現病歴、服用している薬、ADL等の状態)

準備していただくもの

- 普段飲んでいるお薬(お薬手帳や薬剤情報提供書など)
- ご家族の連絡先(キーパーソン)
- マイナンバーカード(健康保険証が紐付けられたもの)
または健康保険証



状況がわかる職員が救急車に同乗

医療機関への申し送りが必要です。看護・介護記録等の申し送りに必要なものを持参してください。
付添いができない場合等は、傷病者の必要な情報を伝えてください。



- ・【別紙】傷病者情報カードは、医療・福祉関係機関のみで使用してください。(利用者様等には配布しないでください)
- ・傷病者情報カードのデータが必要な方は、安来消防本部又は安来市在宅医療支援センターまでご連絡ください。

速やかな応急手当(心肺蘇生等)

反応の確認

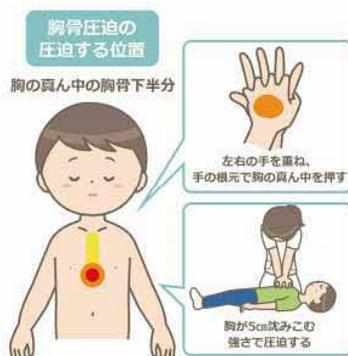
傷病者に反応がない場合だけではなく、**反応の有無の判断に迷う場合**にも、心停止の可能性のあるものとして行動します。

口頭指示について

119番通報において、固定電話やスマートフォンのスピーカー機能等を活用すれば、通信指令員の口頭指示を受けながら胸骨圧迫を行うことができます。

呼吸の確認

普段どおりの呼吸があるかを確認し、判断に迷う場合、又はわからない場合も、心停止と判断して胸骨圧迫を開始します。



「強く」 胸が約5cm沈むまでしっかり
体重をかけて押す
「速く」 1分間に100~120回のテンポで
胸骨圧迫のリズムに使える曲
“世界に一つだけの花”“ドラえもののうた”
「休まずに」 傷病者が動きだすか、救急車が
くるまで続ける

AED(自動体外式除細動器)を使用

速やかに電源を入れて、音声メッセージなどに従って操作してください。

気道異物の除去

異物による窒息は、早期に解消されなければ心停止に至るため、救助者による迅速な処置が望まれることから、**手技が容易で害も少ない背部叩打法を最初に行う処置**。それでも除去できない場合は、腹部突き上げ法を実施してください。



背部叩打法

頭を体より低くさせ、手のひら全体で背中(肩甲骨と肩甲骨の間)を強く叩きます。



腹部突き上げ法

こぶしを後ろから抱えるように回し、みぞおちの十分下方に当て、もう一方の手を重ね、素早く自分の方(手前上方)へグッと突き上げる。

心肺停止のキーワード

- ・意識がない
- ・呼吸をしていない
- ・普段している呼吸と違う
- ・青ざめている
- ・けいれんしている

判断に迷ったら心停止として心肺蘇生、AEDの使用を開始することが重要です。